

報道発表

令和6年10月18日  
名古屋税関  
四日市税関支署

## 令和6年9月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年9月分について、輸出額は「映像機器」などが増加したものの、「石油製品」、「自動車」などが減少したことから、対前年同月比15.2%の減少となった。また、輸入額は「液化石油ガス」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「生ゴム」、「非鉄金属鉱」などが増加したことから、同6.8%の増加となった。

その結果、差引額は1,123億円（同34.4%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	884億円	▲15.2%	2,007億円	+6.8%	▲1,123億円	+34.4%
	2カ月連続の減少		6カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 映像機器	28億円	+158.1%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,087億円	+6.2%
		(2) 有機化合物	71億円	+14.7%			(2) 生ゴム	37億円	+79.3%
		(3) 写真用・映画用材料	26億円	+53.9%			(3) 非鉄金属鉱	33億円	+95.5%
	減少品目	(1) 石油製品	49億円	▲70.7%		減少品目	(1) 液化石油ガス	19億円	▲61.9%
		(2) 自動車	91億円	▲31.0%			(2) 石油製品	76億円	▲12.1%
		(3) 電気回路等の機器	74億円	▲22.7%			(3) 有機化合物	27億円	▲25.6%
	地域別動向	アジア、大洋州が減少、北米は増加				地域別動向	中東欧・ロシア等、中東が増加、北米は減少		

（参考）ドルレートは、144.27円（前年同月比1.5%、2.17円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。